

# 人文・社会科学の振興について

- 21世紀に期待される役割に応えるための当面の振興方策 -

現代的諸問題を克服し、人間や社会の在り方を問い直す必要。  
人文・社会科学が有する批判的役割、文化の担い手としての役割、  
さらに新たな知の組み換えなどの使命に対する期待が大きい。

## 21世紀の人文・社会科学の使命

- 1. 人文・社会科学の批判的役割**  
省察や批判という学問としての役割を通じ、政策の妥当性の吟味、科学技術の在り方やその社会的浸透のモニタリングなどへの貢献が必要
- 2. 文化の継承と発展**  
人文・社会科学は人間の精神生活の基盤
- 3. 現代的諸問題の解決への貢献**  
研究成果に基づいた現代的諸問題の解決のための素材の提供・提案という形で、積極的な貢献が必要
- 4. 知の組み換え**  
新分野の開拓や学問の融合の必要性  
各分野・領域の学問が相互にぶつかり合い、変容を遂げる中で、新たな知の枠組みが創成

## 我が国の人文・社会科学の現状と課題

- 1. 研究・教育の細分化と閉鎖性の打破**  
分野・領域の専門化・細分化が進み、人文・社会科学相互あるいは分野の間、同じ分野の異なる専門の間の協働が不十分  
新分野の創造・開拓、学問の発展のため、より柔軟で開放的な研究・教育体制への変容が必要
- 2. 現実的課題への関わりの強化**  
学術研究と政策との連携を図り、研究成果の現実の政策への活用が必要
- 3. 国際的な交流・発信の積極的な取組**  
研究成果を英語等で世界に向けて発信する組織的な取組が必要  
世界的規模の諸問題の解決に向けた、国際共同研究等を通じた我が国の貢献への期待

# 人文・社会科学の振興方策

## 目指すべき方向

1. 分野間・専門間の協働による統合的研究の推進
2. 若手研究者の育成
3. 国際的な交流・発信の推進
4. 研究基盤の整備

## 具体的な施策

- 課題設定型プロジェクト研究の推進  
「地域」を対象とする総合的研究の推進
- 広い視野と知識を有する人材養成  
海外での研究機会の拡大
- 国際共同研究の場の設定  
外国人研究者の受入れの促進  
研究成果の国際発信
- 図書館等の機能の充実  
データベースの整備と流通促進  
研究成果の発信システムの整備